

収束性ドット世界

君を見てた
夏の日の夕暮れ
見上げる空 きゅうくつなオレンジのおしゃべり

はじめてあげられた言葉は
ひとつひとつ つなげる声 原色がふたつ

終わりのない連日に覚えたオハヨウの歌
ポケットに入れて窓を開け放つような再現性
夜を抜けてたどり着いた 羽をあつめた雲
連なるイメージじゃない水玉のような連続性
ぼくらの出会いはひとつじゃない

君を見てた
世界が終わる午後
夢を読むように響かせる孤独宇宙

はじめて見つけたのは誰も
知ることもなく麦畑落ちていく感触

終わりのない毎日で数える魚の群れ
現存するイメージじゃない 高揚を伴うような即興性
夜を抜けてたどり着いた 羽を休める胸
とどまるだけじゃない らせんが終わらないような収束性
まだ見ぬ世界はひとつじゃない

終わりのない毎日で数える魚の群れ
現存するイメージじゃない高揚を伴うような即興性
夜をぬけてたどり着いた羽を手に入れる術
所有するためじゃない 創造だけが動かす永続性
まだ見ぬ世界は色付かない